

報告書抄録

ふりがな	りゅうがさきえいいせき							
書名	竜ヶ崎A遺跡							
副書名	ほ場整備（経営体育成基盤整備）関係遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	33-1							
編著者名	小島孝修							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月日	平成18年（2006年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
りゅうがさきえいいせき 竜ヶ崎A遺跡	しがけん 滋賀県 がもうぐん 蒲生郡 あづちちょう 安土町 しもといら 下豊浦	25381	019	35° 09′ 00″	136° 08′ 20″	980m ²	2003.04.11) 2003.12.25	県営ほ場 整備（経 営体育成 基盤整備） 事業小中 之湖地区
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
竜ヶ崎A遺跡	集落跡 寺院跡	縄文時代中期～晩期 白鳳期		土坑・ 遺物包含層	縄文土器・土 製品（土製円 盤・焼成粘土 塊）・石器（石 鏃・スクレイ パー・楔形石 器・石斧・石 錘・磨石類・ 石皿類等）・木 製品（榿等）・ 獣骨・弥生土 器・須恵器・ 土師器・土 錘・瓦			
要旨	<p>安土山西麓の旧弁天内湖岸における発掘調査であり、縄文時代の遺構と縄文時代から白鳳期にかけての遺物包含層が検出された。縄文時代の遺構は中期末の土坑4基であり、中からは縄文土器や石器・獣骨・木片などが検出された。立地や形状からは、本来は貯蔵穴として使用されていたと思われる。遺物包含層は、山裾の緩傾斜地に堆積したもので、スクモや砂を主体とすることから、内湖の湿地際にあったと思われる。4層が確認され、それぞれ下層から縄文時代前期前葉・同後期後葉・同晩期後葉・12世紀を堆積時期の上限とする。縄文土器のほか、磨石や石皿を中心とする石器や榿などの木製品が多く出土した。そのほか、最上層から出土した白鳳期の瓦を中心とする遺物からは、古代寺院の存在を想定することができる。</p>							